



はくい
石川県 羽咋市

姉妹都市

ふくむはくい

ステージに並ぶ花のプランターを前に記念撮影する
NPO法人「はな街道」中島専務理事（中央）と
塚本藤岡副市長（右から2人目）



藤岡市を通してNPO法人「はな街道」から 入学式に応援の花届く

4月5日、羽咋市内の5つの小学校で入学式が行われました。

藤岡市との交流が深いNPO法人「はな街道」(東京都)から、震災支援として市内小学校の入学式に合わせ、花の支援をいただきました。

羽咋小学校では、体育館ステージ上に東京都の小学生からの応援メッセージが添えられたマーガレットのプランターが並ぶ中、新入生たちは、担任教諭から名前を呼ばれると「はい！」と元気よく返事をし、新しい学校生活への期待を表しました。

式には同NPO法人「はな街道」の中島憲一専務理事、塚本英夫藤岡副市長などが来賓として出席しました。

ふじおか Culture
~藤岡の文化を探る~
No.98
【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

堀越 二郎 ~計算尺~

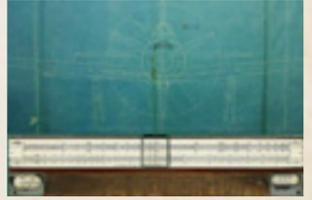
藤岡市の三大人の1人である、航空技術者の堀越二郎が航空機の設計などで使っていた「計算尺」が藤岡歴史館に展示されています。二郎の計算尺は2つ現存しており、1つは所沢航空発祥記念館、もう1つの携帯用の短い計算尺が藤岡歴史館に所蔵されています。

計算尺とは、対数の原理を利用した棒状や円盤状の定規のようなものを組み合わせて目盛りを読むアナログ式の計算機で、今で言うところの小型の関数電卓として使われていました。日本では1894年に欧米視察の土産として持ち帰った物が始まりとされ、1909年ごろには日本で独自に作られ始めました。高性能の関数電卓が普及するまで、計算尺は理数系の研究者にとって手軽に計算ができる重宝された道具でした。

二郎の回想によれば、「設計の作業は、まず主任の一人の頭の中で構想が始まり、過去のデータを基礎に、計算尺を使って重量の大ざっぱな見

積もりから、その重量に見合った翼の面積を仮定し、性能の見直しをつける」と語っており、計算尺は仕事の上で身近に使っていた道具であることが分かります。移動中などアイデアが浮かんだ時には、手軽に持ち運びができるこの計算尺を使って計算したことでしょう。

現在使用されていない昭和初期の時代に、アナログな道具を使って世界水準の航空機を作り上げた二郎の才能と努力の様子が、この計算尺からもうかがえます。



所沢航空発祥記念館所蔵 (上)
藤岡歴史館所蔵 (下)

教えて! 消費生活

遠隔操作アプリを悪用した副業に注意!

Q 「スマートフォンから写真をタップするだけで稼げる」という副業の広告を見つけ、登録した。仕事の説明の電話が入り、200万円のサポートプランを勧められ契約した。お金がないと伝えたら遠隔操作アプリで担当者の指示の下、4社の貸金業者から50万円ずつ借り入れてしまった。不審なので解約したい。

A 本来、遠隔操作アプリは非常に便利なツールですが、最近では悪質な事業者が悪用するケースが増えています。遠隔操作アプリを使用すると、実際にそばにいないが指示を出されているような状況になり、冷静な判断力を失います。まずは借金をしてまで契約しないようにしましょう。気付いたら何百万円も借り入れられて、引き出されていることもあります。不審に思ったら遠隔操作アプリの使用をやめ、アンインストールしましょう。貸金業者に事情を伝えて返金し、警察に相談しましょう。そして、事業者から電話勧誘販売に当たるためクーリング・オフする旨を伝え、様子を見ましょう。「簡単に稼げる」ことを強調する広告をうのみにしないことが大切です。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時~午後4時

ふじおか 防災トピックス

Fujioka Disaster Prevention Topics

災害時に自分や大切な家族を守るには知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

あなたの家は大丈夫? 家具の固定で地震に備えよう!

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】

1月1日に起きた令和6年能登半島地震では多くの人が建物や家具などの下敷きになって亡くなったり、けがをしたといわれています。いつ発生するか分からない地震から命を守るためには、普段からの備えが重要です。「震度5強でダンスなど重い家具が倒れ、テレビが台から落ちることがある」と想定されています。ホームセンターなどで転倒防止用品を購入することができるので、いざというときのために防災対策を講じましょう。

また、手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。懐中電灯は停電時に暗闇を歩く時の必需品で、スリッパは割れたガラスなどの破片によるけがを防ぎます。ホイッスルは建物や家具の下敷きになった場合に救助を求めるためのもので、少しの息でもホイッスル音が出るので、救助する際の捜索の目安になります。

